

日米姉妹都市 「平和のベル」 プロジェクト

8/6[金] 8:15

8/9[月] 11:02

ひろしま ながさき げんぱく とうか じこく あ
広島と長崎に原爆が投下された時刻に合わせ
おおいそ しまいとし し しみん
大磯の姉妹都市であるデイトン市の市民と
とも な へいわ いの
共にベルを鳴らして、平和を祈りましょう。

さんかほうほう 参加方法

- いしがみだいひがしこうえん もくとう
1. 石神台東公園で黙禱をする
10分前ごろを目安に公園へ直接お越しください。
- えんだいじ もくとう
2. 延台寺で黙禱をする
新型コロナウイルス感染拡大防止のため人数を制限しています。
事前にお問い合わせください。
- じたく もくとう
3. 自宅でベルをならして黙禱をする
ベルを鳴らした様子を、ぜひ写真でお知らせください。

→詳しくは裏面をご覧ください

「平和のベル」プロジェクトとは ...

「76年前の広島・長崎原爆投下の同じ日、同じ時刻にアメリカ姉妹都市デイトンの人々と一緒に、平和を祈ろう、平和の鐘を鳴らそう」という今年の平和のベル・プロジェクトは、昨年2020年広島・長崎原爆投下から75年の節目に、シスター・シティーズ・インターナショナル（全米国際姉妹都市協会）が日本とアメリカの姉妹都市に平和のベルを鳴らそう、と広く呼びかけ行われたプロジェクトをもとにしています。

戦後に広まった姉妹都市は、日米455都市になり、昨年は多くの姉妹都市でベルの音が響きわたり、黙祷がささげられました。ベルを鳴らすアイデアは、カルフォルニアで被爆者の苦しみを伝えていた活動家によるものでした。悲惨な戦争を繰り返さないよう、平和を願う気持ちをこれからも毎年多くの人々と一緒に表したいと考えます。

石神台東公園では黙祷を、延台寺、澤田美喜記念館では釣鐘を鳴らし、祈りをささげます。

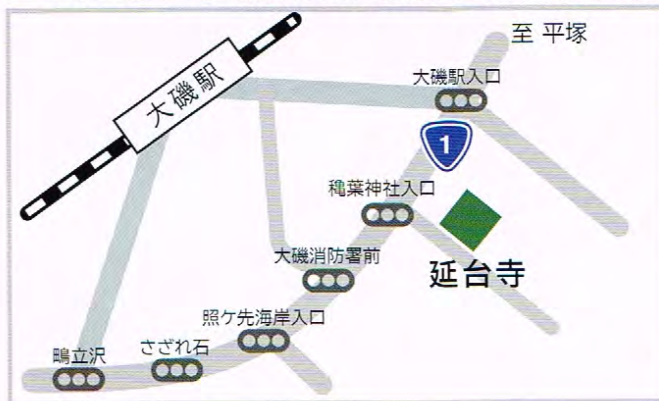
会場だけでなく、ぜひご自宅や職場で平和を願う気持ちを姉妹都市と共有しませんか。

* コロナ感染対策のため、当日の体温と連絡先の確認、マスク着用、手指消毒のご協力お願い致します。状況により、変更や中止する場合があります。ご了承ください。その際は、当協会HPでお知らせ致します。

1. 石神台東公園（直接お越しください。）



2. 延台寺（前日までにお問い合わせください。）



3. 写真を投稿しませんか

ベルを鳴らし黙祷した様子を、ぜひ写真でお教えてください。後日、当協会のウェブサイトに載せ、姉妹都市のみなさんと共有します。マスクをするなどお顔がはっきり映らないよう工夫して下さっても結構です。

■応募方法・規格*応募前に必ずお読みください。

- ・大磯町国際交流協会あてにEメールで送付してください。
- ・件名は「平和のベル写真」としてください
- ・氏名（フリガナ）、ご住所、写真に対するコメント（任意）を本文に明記の上、写真データを添付してください。
- ・2021年8月6日、8月9日に撮影された写真に限りです。
- ・ご応募いただけるサイズは1枚約2MB以下です。

・一度に送信できない場合、複数回に分けて送信することも可能です。

■注意事項*応募前に必ずお読みください。

送付された写真データはお返ししませんので、応募者において保存してください。また、送付写真で著作権侵害、肖像権侵害係る問題等が発生した場合、大磯町国際交流協会は一切の責任を負いません。

問い合わせ・写真送付先 大磯町国際交流協会 坂本桂太郎

✉ oiso.sister.city@gmail.com

大磯町国際交流協会

1978年設立した「大磯町姉妹都市協会」を、2017年「大磯町国際交流協会」にあらため、国際交流をメイン事業にしました。約40年にわたり、アメリカ姉妹都市デイトン市とラシン市との交換ホームステイに約150名の高校生を派遣してきました。姉妹都市派遣高校生プログラムや交流事業を通して、国際感覚を養い、リーダーシップを発揮できる若者の育成に努めています。2020年、2021年はコロナ禍において町内で若者が活躍できる機会創出に努め、PRビデオ作成、ハロウィーンイベントや座間基地司令官（ラシン市出身）との交流会を運営・実行しました。

延期した派遣高校生プログラムは、2022年7月ラシン市3名派遣を予定（募集は2022年1月から）、デイトン市からは3名の高校生が大磯にやってくる予定です。

今年は、チャリティーコンサート（詳細は後日HPで発表）でホームステイ体験談発表がありますので、ぜひいらしてください。

